

岸田さん、G7外交でどこを向いているの？

岸田首相はG7の議長国となって、各国を歴訪。が、岸田氏はどこに足をつけていたのか？多くの国民は円安による輸入品の値上がりで困っている。それを解消する為に外国首脳と話した形跡が無い。話したところで「アベノミクス、超低金利政策が問題。身から出た錆」と云われるだけだろうが。

台湾有事に

台湾有事に備えて、米国から兵器を爆買い、英伊と戦闘機の共同開発をしようと言う。

世論調査によれば国民の多くは兵器の爆買いも憲法違反の反撃能力の保有にも反対だ。

国民は台湾有事はあり得ないと思っっているのだろう。

何故か？中国から大量の農産物、レアメタ

ルを輸入、中国に投資し沢山の工場を設け、製品を日本に輸出している。そんな相手に「膨大な兵器を構えていないと付き合えない」なんてあり得ないと思うのが常識。習近平がプーチンのように国民の不満をそらす為に戦争を起こす可能性がゼロとは云えないが、そうしたら誰も中国の製品は買わない。自滅の道になる事を説得するのが外交の役割だ。

サハリン LNGでは

ドイツはロシアのLNGからの脱却を図っている。一方、日本は三菱三井がLNG2を取られるのを恐れて新会社に「参加」。

本来の日本外交の役割は「プーチンに貢がないよう撤退。その後他国が入らないよう云う事。将来、ロシアに損害を償わせる」と云う事ではないか。あなたはどうか思われますか？

県立横浜国際高校

横浜市南区六ツ川一丁目から
2023年1月



横浜国際高校は、南区の最高峰「山王台」のすぐ南西にある。遠方のビルは洋光台や港南台だろう。正月に孫と散歩に来たら「この場所で絵を描きたい」と云う。翌日準備して孫とスケッチ。どう描こうか途方に暮れていると、孫は「どんどん描いている。風景そのものでは無く、風景を見て湧いてくるイメージを描いているのだ。考えるとピカソの絵もそうでは無いだろうか。」

元は雑木林だったが、一九八七年に六ツ川高校が作られ、二〇〇八年に県立外語短大付属高校と合併「横浜国際高校」となった。高校の正門から右にそれると、この急峻な階段に出る。百十七段を上りきって振り返ると、眼下に横浜国際高校。

